

久我山だより

令和5年4月28日

杉並区立久我山小学校

電話(3331)3631 FAX(3247)8415

URL <http://www.suginami-school.ed.jp/kugayamashou/>

みんなのいいね!

～ 子どもたちの人権感覚を育てる取組 ～

校長 小原 潤

「給食の片づけを手伝ってあげていた。」

「遊びに誘ってくれた。」

「面白いことをして笑わせてくれた。」

これは、5年生の教室の前に貼ってある「みんなのいいね!」の中の言葉です。久我山小では、長年にわたって、各学級の帰りの会の中で、お互いのよさや頑張りについて発表し合う「いいねタイム」を行っています。

学年に応じて、自分がしてもらったことだけでなく、AさんがBさんのためにしていたこと、学級のみんなのためにしていたこと、学習の中で頑張っていたことなどについても、発表するように促しています。また、どの子どもにもみんなの目が向くように、その日の日直のよいところをみんなで発表するということにも取り組んでいる学級もあります。

「いいねタイム」のよいところは、互いを褒め合える温かい学級風土を作ることです。自分についてのポジティブなメッセージは、自己肯定感が上がり、そのことを続けようとし、聞いていた子はそれを真似しようとし、また、何よりも大切なのは、周りの友達のよいと

ころに目を向ける意識が育つことです。

久我山小ではそのほかにも、運動会や学習発表会などの行事の際に、きょうだい学年に対して応援や感想を書いたカードを送り合っています。もちろん授業の中でも、よい考えや頑張りや拍手や言葉にして褒め合うようにしています。久我山小の子どもたちの優しさはこのようにして育っているのだと思います。

本校は、令和4・5年度東京都教育委員会「人権尊重教育推進校」の指定を受けています。研究主題を『自分の大切さとともに相手の大切さを認める児童の育成 ～「かかわり」を大切に活動を通して～』と設定し、教職員で知恵を絞って、その具現化のための取組を進めているところです。

人権教育を進めていくためには、学習も大切ですが、日常の生活を通して、心や感覚を育てていくことも重要であると考えています。ご家庭でも、「〇〇さんがさ・・・」と友達のよさや頑張りについてお話を始めたら、ぜひ、たくさん褒めてあげてください。

5月の生活目標

友達と仲良くしよう

入学、進級から4週間経ち、少しずつ新しい生活に慣れてきた様子が見られます。全学年でクラス替えを行ったので、今まで話したことのない人たちと接する機会が多くなりました。初めて同じクラスになった人や、あまり話していなかった人と仲良くなれるチャンスです。元々仲の良い友達はもちろんのこと、多くの友達をつくり、一人ひとりが楽しい学校生活を送ることができるよう、言葉掛けをしています。

(生活指導委員会 橋内 柚季)